

洲本市バイオマス産業都市構想の概要

兵庫県洲本市、人口 約4.7万人、面積 約1.8万ha

構想の概要

人と自然が共生する健やかで安心できるまちづくりを目指し、あわじ環境未来島構想が目指す「暮らし・エネルギー・農と食の持続」に向けた取組と連携しながら、市民の積極的な参加を促しつつ、バイオマス資源の有効利用による地域活性化、安心して暮らせるまちづくりを目指す。

1. 将来像

- ①都市部から積極的に人材を誘致し、地域活動を通じて定住・定着を図り、地域力を維持・強化
- ②農漁業と食、再生可能エネルギー事業を有機的に連携させた観光モデルを推進
- ③バイオマス由来燃料の備蓄等、防災・減災への取組を推進
- ④「バイオマスでつながる環境未来の里・すもと」をキャッチフレーズとし、その実現を図る

2. 事業化プロジェクト

- ①菜の花・ひまわりエコプロジェクト及びBDF、B5燃料事業の拡大・廃食用油の回収エリア、ナタネ、ヒマワリの作付面積の拡充
- ②バイオガス発電事業(下水・し尿汚泥、食品廃棄物、廃玉ねぎ)
- ③竹資源の有効利用事業
・竹資源回収システムの確立、チップ化による発電・熱利用等
- ④BTL(液体燃料)製造事業(可燃ごみ、木質、農産物残渣)
・熱分解、FT合成によりBTLを製造
- ⑤微細藻類の有効利用事業

3. 目標(10年後)

- ①バイオマス利用率 廃棄物系バイオマス:95%、未利用バイオマス:55%、バイオマス資源全体:80%
- ②エネルギー自給率向上
燃料:B5燃料800kL/年、BTL由来バイオ燃料360kL/年の生産・使用により約3.3%の自給率向上
電力:年間発電量1,548MWhにより約0.4%の自給率向上
- ③温室効果ガス削減 2,935t-CO₂/年の削減
- ④廃棄物削減 11,791t/年の削減

4. 地域波及効果

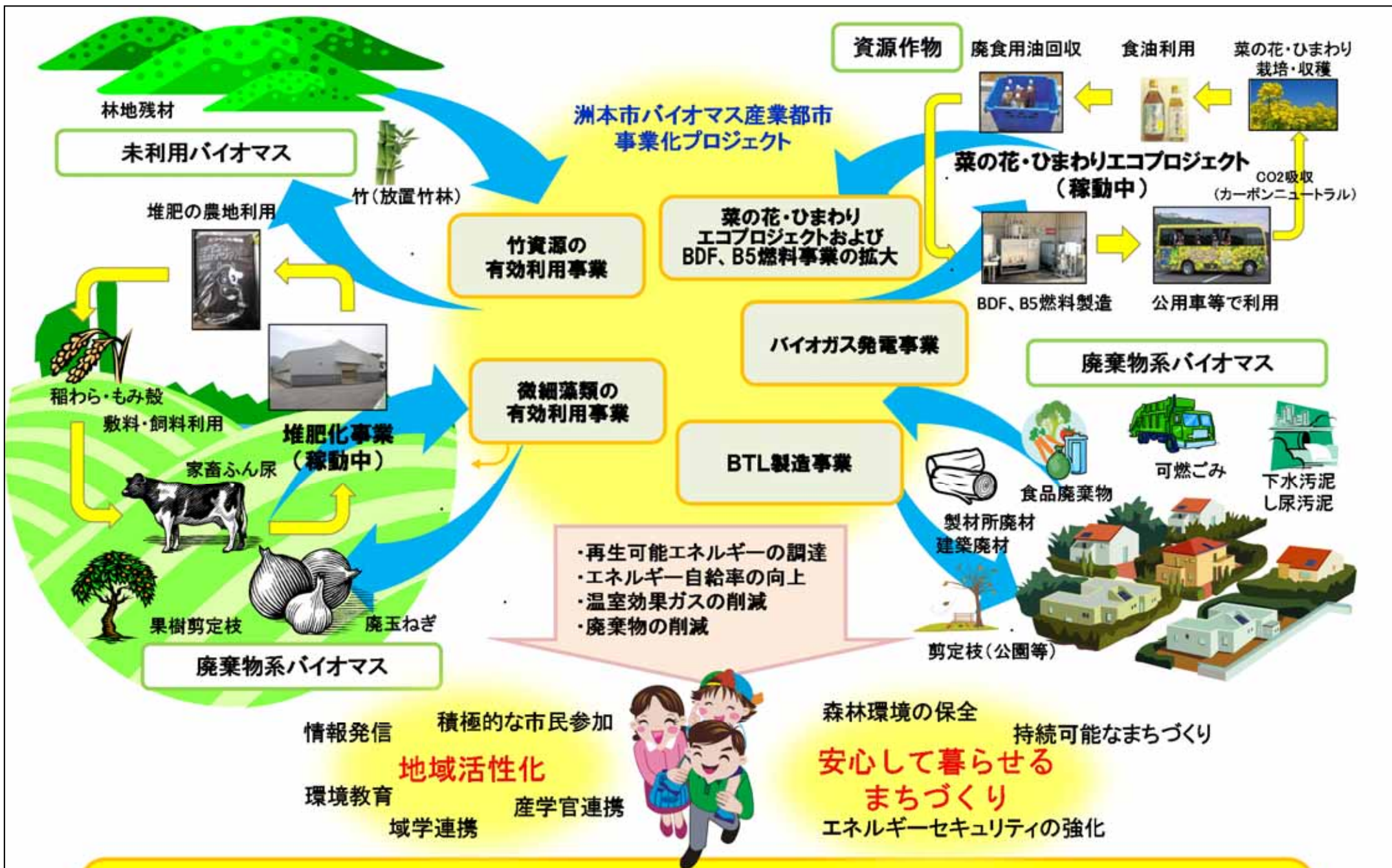
- ①バイオマス利用量の向上 157,750t/年(利用率80%)(現在110,461t/年(利用率56%))
- ②雇用創出 35人
- ③エネルギー自給率向上 BDF:0.3%、バイオガス発電:0.4%、BTL:2.9%
- ④温室効果ガス削減 2,935t-CO₂/年の削減
- ⑤廃棄物削減 11,791t/年の削減
- ⑥災害時のエネルギー確保(エネルギーセキュリティの強化)
- ⑦持続可能なまちづくりのための基盤形成とブランド化

5. 実施体制

- ・洲本市、市民、事業者が一体となって「洲本市バイオマス産業化構想推進協議会(仮称)」を設置
- ・協議会は各事業について確認し、助言・評価
- ・地域の市民・企業が積極的に参加できる体制を構築

6. その他

- ・洲本市バイオマスタウン構想(H18)
- ・洲本市地域新エネルギービジョン(H18)、同詳細ビジョン(H19)
- ・洲本市総合基本計画(H20)、同後期基本計画(H25)
- ・洲本市地球温暖化対策実行計画(H21)、あわじ環境未来島構想(H22)
- ・洲本市地域再生可能エネルギー活用推進条例(H25)



“バイオマスでつながる環境未来の里・すもと”の実現